

特別養護老人ホームえびす運営推進会議報告書

開催日時 令和元年7月31日 15時から16時

参加者	地域代表	黒沢尻第14区長	O様
	家族代表	白堂	N様
	北上市	長寿介護課介護給付係長	T様
	当該事業に知見を有する者	民生委員・児童委員	O様
	施設職員	施設長	林
	施設職員	介護支援専門員	扇田
	施設職員	介護福祉士	佐藤
	施設職員	看護師	菊池

議題	<p>1. 事業所の活動内容の報告</p> <p>・報告者 林 消防訓練を6月21日に実施しております。1階厨房から出火を想定し、消火訓練、通報訓練、避難訓練を行っております。 防火管理者の所感として、スムーズに動けなかった。職員一人一人の防災意識を強く持ち、未然に防ぐ事が大切である。とのことから、非常災害対策計画をしっかりと理解し、今後も非常時に備え訓練をして参りたいと思います。</p> <p>2. ヒヤリ・ハットや事故等の報告及び今後の予防策</p> <p>・報告者 扇田 以下の事故報告について説明を行いました。 5月 誤嚥1件、誤薬1件 6月 滑落3件、バルーンカテーテル抜去1件 7月 転落1件、転倒1件、滑落1件、誤薬2件、皮下出血3件、バルーンカテーテル抜去1件 以下のヒヤリハット報告について説明を行いました。 6月 2件 7月 1件</p> <p>3. 身体拘束等適正化について</p> <p>身体拘束適正化指針の取り組みについての質疑応答がありました。</p> <p>4. その他</p> <p>今後の行事予定 8月 花火大会 9月 敬老会 10月 芋煮会 11月 輪投大会 12月 クリスマス会・忘年会 1月 鏡開き 2月 節分</p>
-----------	---

質疑応答 ・林…現在、当施設では身体拘束は行われていませんが、皆様ご意見は

ございませんか？

- ・民生委員〇様…身体拘束は、やむを得ない場合もあるのではないかと。
- ・菊池…身体拘束にならないよう努力したい。

事故防止

- ・林…事故の対策として、投薬ミスの再発防止策としては医務室内での薬セット時看護師のWチェックを行う。
服薬させる職員もWチェックを行う。

誤嚥の事故防止策としては、本人のペースで無理せずゆっくり食事介助を行う。

滑落・転落事故防止策として、職員が介助などで利用者を残して離れた時に発生している。常に滑落や転倒・転落はありうるものとして職員は認識する。

特に、新規利用者は、どのような動きをされるか分からないのですぐに現場を離れないで、観察し、行動を予測する。